

一般の部 最優秀

お風呂 大風呂敷 風呂吹き大根

西原和美 (福岡県久留米市)

昭和二十年三月生まれの私を

母は大風呂敷に包んで逃げた

戦車と兵隊と男たちに追われ隠れながら

満杯の引き揚げ船で博多上陸

DDTのシャワーで髪もまっ白にして

大人も子供も同じ大ききの

白米のおにぎりを一個ずつ配給された

女たちは両手で捧げ涙で食べられない

子供たちはむしゃぶりついてぺろり

筑後川のふるさとへ体と心がふるいたつ

祖母は五右衛門風呂を薪で沸かした

母は一年ぶりに入念に髪を洗い

ゆつくりと全身を沈める

無防備な体が湯の中で溶けて

クラゲのように透き通って漂っている

祖母に抱かれた乳飲み子が遠く泣いている

畑から抜いてきた大根一本

米のとぎ汁でやわらかくゆでた

風呂吹き大根と自慢の柚子味噌

大根の皮と油揚げの煮物

大根の葉と油揚げと短冊大根の味噌汁

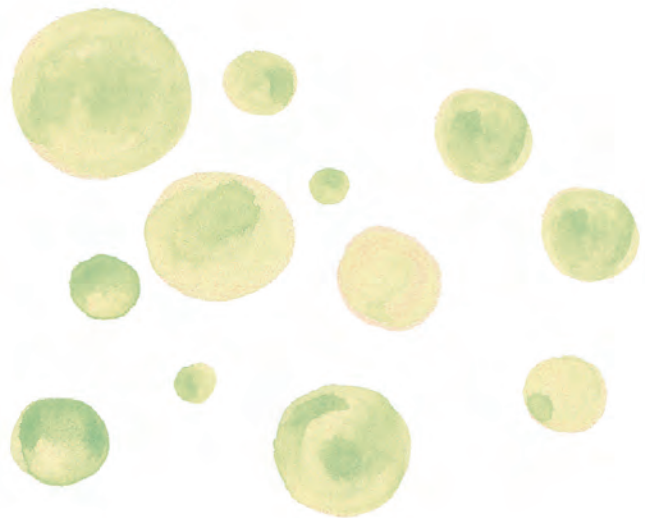
そして白いご飯

懐かしい味に

無防備の心が夜の静寂に溶けてゆく

翌朝もの干し棹できれいになった大風呂敷が

旗のようにバタバタバタバタ鳴っていた



それから二年たった冬

シベリア抑留で身心をボロボロにして

父が帰還した

母はお風呂を沸かし風呂吹き大根を作った

四半世紀が過ぎて

私の子供がアメリカの友人を連れてきた

母は二人に町で一軒の銭湯を勧めた

夕食に風呂吹き大根マヨネーズ

無防備の体と心で若い二人は何か交流した

そう信じたい気がして熱いシャワーを浴びた

